



## 統計情報サービス コマンド

このモジュールでは、ルータでのシステム モニタリングのためのインターフェイス統計情報 (StatsD) の収集に関連する Cisco IOS XR ソフトウェア コマンドについて説明します。ルータ上のインターフェイス統計情報は、ハードウェア (ほとんどの場合) およびソフトウェア (例外パッケージ) にあります。カウンタは常に、インターフェイスのホームになっているノードのローカル (CPU を基準とする) になります。Cisco IOS XR ソフトウェアは、これらのカウンタをさまざまな特定用途向け集積回路 (ASIC) または NetIO から収集し、インターフェイスに関する一連の正確な統計情報を組み立てるための効率的なメカニズムを提供します。統計が生成されたら、それを関係先 (コマンドラインインターフェイス (CLI)、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) など) にエクスポートすることができます。

Cisco IOS XR ソフトウェアの統計情報収集システムは、あらゆるインターフェイス所有者がそれぞれのインターフェイスの統計情報のエクスポートに使用できる、共通のフレームワークを提供します。このシステムはまた、すべてのインターフェイスに関連する一連の共通の統計情報も定義し、それによってルータ上のあらゆるインターフェイスと常に関連付けられ維持される一貫した持続的なカウンタのセットが提供されます。

統計情報収集システムには、統計情報マネージャ、統計情報サーバ、1つまたは複数の統計情報収集機能、および必要なライブラリが含まれます。ルータ上の各ノードには、それぞれ1つの統計情報サーバが格納されています。

統計情報サーバに加え、各ノード (インターフェイスがあるもの) には1つまたは複数の統計情報収集機能が備えられています。統計情報収集機能はプラットフォーム別になっており、さまざまなハードウェアおよびソフトウェアのカウンタを入手して統計情報サーバからの要求に応えることができます。

統計情報マネージャは、統計情報収集機能が登録されていないインターフェイスに関する統計情報の生成は行いません。統計情報収集機能が登録されていないインターフェイスに関する統計情報の要求を行うと、統計情報マネージャから要求元に対してエラーが返されます。

- [clear counters, 2 ページ](#)
- [load-interval, 4 ページ](#)

## clear counters

インターフェイスカウンタをクリアするには、EXEC モードで **clear counters** コマンドを使用します。

**clearcounters**[**all** | *type**interface-path-id*]

### 構文の説明

<b>all</b>	(任意) すべてのインターフェイスのカウンタをクリアします。
<i>type</i>	(任意) インターフェイスのタイプ。詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<i>interface-path-id</i>	(任意) 物理インターフェイスまたは仮想インターフェイス。 (注) ルータに現在設定されているすべてのインターフェイスのリストを表示するには、 <b>show interfaces</b> コマンドを使用します。 ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) を使用してオンライン ヘルプを参照してください。

### コマンド デフォルト

すべてのインターフェイスのカウンタがクリアされます。

### コマンド モード

EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てが原因でコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

**clear counters** コマンドを使用すると、**show interfaces** コマンドで表示されたすべての統計カウンタをクリアできます。オプションの引数を入力しなかった場合や、**all** キーワードを指定した場合は、すべてのインターフェイスのカウンタがクリアされます。インターフェイスタイプを指定した場合は、そのインターフェイスのカウンタだけがクリアされます。

**clear counters** コマンドを **all** オプションと共に使用すると、すべてのインターフェイスのカウンタがクリアされます。このコマンドを入力すると、確認を求めるメッセージが表示されます。  
**clear counters** コマンドを有効にするには、Enter キーまたは y キーを押します。



(注) このコマンドは、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) で検索されたカウンタはクリアせず、**show interfaces** コマンドで表示されるカウンタだけをクリアします。

## タスク ID

タスク ID	操作
interface	実行

## 例

次の例は、すべてのインターフェイスのカウンタをクリアする方法を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# clear counters all
Clear "show interface" counters on all interfaces [confirm]
```

次の例は、Packet-over-SONET/SDH (POS) インターフェイス 0/1/0/0 のインターフェイス カウンタをクリアする方法を示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# clear counters POS 0/1/0/0
Clear "show interface" counters on this interface [confirm]
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show interfaces	ネットワークングデバイスで設定されたすべてのインターフェイスの統計情報を表示します。

# load-interval

インターフェイスの負荷計算のインターバルを指定するには、インターフェイス コンフィギュレーションモードで **load-interval** コマンドを使用します。負荷インターバルをデフォルト設定に戻す場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**load-intervalseconds**

**noload-intervalseconds**

## 構文の説明

<i>seconds</i>	インターフェイスの負荷計算の秒数。値の範囲は 0 ~ 600 秒で、30 ずつ増分します (30、60、90 など)。デフォルトは 300 秒です。
----------------	--

## コマンド デフォルト

*seconds* : 300 秒 (5 分)

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てが原因でコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

負荷インターバルをゼロに設定すると、負荷計算はディセーブルになります。負荷インターバルを設定する場合は、30 の倍数を使用する必要があります (最大 600 秒)。

## タスク ID

タスク ID	操作
interface	読み取り/書き込み

## 例

次の例では、負荷インターバルを 30 秒に設定する方法を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure  
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface pos 0/1/0/0  
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# load-interval 30
```

**load-interval**